

合が縮絨については最も効果がある。特に収縮率の高い地質はこの傾向が明らかである。スチームアイロンにおけるスチームの量，湿布の水の量，霧吹きの水の量の多少による影響は顕著ではない。アイロンの重量による影響とアイロン時間の多少による影響が認められた。

B-46 地直しを効果的にするアイロンのかけ方について

三重短大 大富千恵子

1. 地直しは被服構成において非常に大切な仕事であるがアイロンがけによって地直しをする場合どのようなかけ方をすれば最も効果的であるかは明確にされていない。本研究は地直しのうちの縮絨についてどのような条件のもとで、どのような方法でするのが最も効果的であるかを明らかにすることを目的とする。

2. (1) スチームアイロンを直接布にかけた場合、(2) 湿布を試料布の上にあて、ドライアイロンをかけた場合、(3) 霧吹きをしてからドライアイロンをかけた場合、以上3種の場合について

(イ) スチームアイロンはスチーム噴出量の異なるものを2種 (ロ) ドライアイロンは重量の異なるものを2種、(ハ) 湿布は水分の多い場合と少ない場合、(ニ) 霧吹きの水の量が多い場合と少ない場合 (ホ) アイロンがけの時間の長い場合と短い場合、これらの条件を組み合わせると12通りの実験を行なった。

3. (1) (2) (3) の3種の場合のうちでは (3) の場